

今は冬です！…少雪、目立つ夏道感覚の走行  
帯広市内、交通死亡事故相次ぐ  
～スピード・ダウン～

◆スリップ事故注意！◆  
交差点手前、滑って交差点内で衝突！（踏切手前も注意）

中間点呼時の安全指示の徹底

気抜き運転・手抜き運転・ぼんやり運転 優先意識・思い込み・なれ・疲れ  
一番多い違反⇒前方不注意（わき見・漫然運転）⇒追突事故のおもな原因

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ  
交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

横断歩道ではないところを横切っていた

86歳男性が乗用車にはねられ死亡

[ 2014/2/10 8:50 ]

9日午後8時ごろ、岐阜県で、横断中の86歳の男性が乗用車にはねられて死亡する事故があった。現場は片側1車線の国道で、男性は横断歩道ではないところを横切っていたという。

雪遊びの女児2人、車にはねられけが

2014年2月10日(月)23時45分

10日午後1時55分ごろ、横浜市の市道で、いずれも近くに住む小学校1年の女児(7)と同(6)が、軽ワゴン車にはねられた。2人は道路脇に積もっていた雪で遊んでいたといい、一人は頭や体を強く打ち重傷、もう一人も顔にけがを負った。警察は自動車運転過失傷害の疑いで、自営業の男(72)を逮捕した。現場は信号機のない丁字路交差点。右折しようとした軽ワゴン車が曲がりきれず、道路脇にいた女児2人にぶつかった。

保冷車が追突 「脇見をしてしまった」

5台の事故 1人意識不明2人けが

2014年2月10日(月)11時50分

埼玉県の関越自動車道で、保冷車など5台がからむ事故があった。1人が意識不明の重体となっているほか、2人がけがをしたという。午前9時20分ごろ、保冷車が、前を走っていた軽自動車に追突するなどし、あわせて5台がからむ事故となった。消防によると、軽自動車は、追突されたはずみで、前を走っていたトラックとの間に挟まれ、大破したということで、軽自動車に乗っていた男性1人が意識不明の重体となっているほか、男性2人が軽傷を負った。保冷車の運転手は調べに対して、「脇見をしてしまった」と話しているということです。

トレーラー、雪でスリップ 分離帯に衝突

はずみで防護壁に突っ込む、防護壁が国道に落下

2014年2月10日(月)10時55分

10日午前5時45分ごろ、東京都の立体交差点で、雪でスリップした大型トレーラーが中央分離帯に衝突し、そのはずみで反対側の防護壁に衝突しました。重さ約1トンの防護壁は下を走る国道に落下しました。けが人はありませんでした。警視庁によりますと、トレーラーの運転手の男性は「雪でスリップした」と話しているということです。